

CDP情報開示ウェビナー (既存開示企業向け)

2026年 CDP情報開示ウェビナーシリーズ 第2回

2026年6月24日

ご注意:

- ご質問はQ&Aボックスからご投稿ください。回答開始は質疑応答の時間帯となります。
- ウェビナー終了後は、アンケートへのご回答にご協力をお願いします。
(情報提供・支援体制向上のため)
- 本ウェビナーのCDPによるスライドおよび録画は、すべての登録者にお送りいたします。
本ウェビナー録画・資料の無断掲載は禁止しております。

アジェンダ

- CDP概要
- 質問書の枠組みとスコアリング基準
- 情報開示プラットフォーム
- 質問書全体の変更点
- 質問レベルの変更点
(統合モジュール&気候変動モジュール)
- スコアリング変更点
(統合モジュール&気候変動モジュール)
- 2026年タイムラインと参考資料
- 事前質問



CDPについて

CDPは、企業、都市、州、地域を対象とした世界的な環境情報開示システムを運営する国際的な非営利団体です。



540以上

資産総額110兆米ドルを超える世界の金融機関



270以上の

購買組織(世界の時価総額の約5分の1に相当)



22,100社以上

世界の時価総額の2/3を占める開示企業



1,000以上

情報開示を行っている都市、州、地域

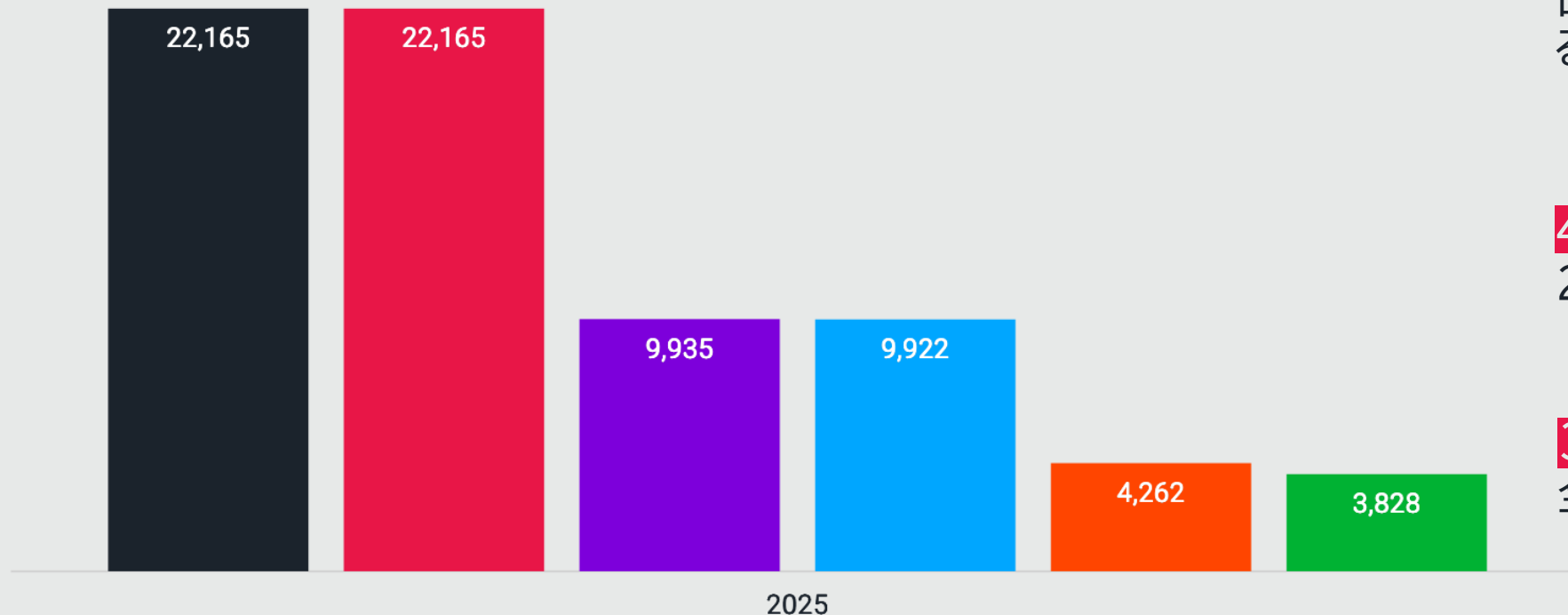


2025年 CDPを通じた開示数



環境課題別の開示企業数(2025)

■開示企業数(合計) ■気候変動 ■生物多様性 ■水セキュリティ ■プラスチック ■フォレスト



22,100+

世界の時価総額の64%を占める企業がCDPを通じて情報開示

4,400+

2025年に初めて回答した組織

3,500+

全環境課題について開示した組織



1回の回答を何度も利用—write once, read many—

開示データの
ユースケース

データおよび分析プロバイダー、
基準策定機関

サステナビリティデータの
エンドユーザー

サステナビリティデータの
エンドユーザー



22,100社以上(世界の
時価総額の64%を
占める)

CDPは、組織が市場や規制の
要件に基づいて情報開示を行
うことを可能にすると同時に、

世界の資本市場や調達チーム
の意思決定に役立つ最も信頼
性の高い環境データを利用で
きるようにします。

資金調達への
アクセス

Bloomberg



STOXX



MSCI



- 特定の投資・融資商品
へのアクセス
- 優遇金利へのアクセス

事業継続性

競争上の
優位性



顧客



- コスト削減、ビジネス
チャンス、企業価値
の整合
- 世間の評価、市場に
おける評判

顧客維持



- 調達要件、調達入札の
落札

コンプライアンス
／規制への対応



- 規制・コンプライアンス
要件への対応
- 公的・民間セクターの
関係者からの訴訟リス
クの管理

CDPは新たな チャプターへ

2つの組織が共通の志のもと、
さらなるインパクトの創出に
取り組みます。



これまでの発表内容

CDPIは、非営利団体であるCDP Foundationと営利事業体であるCDPという2つの独立した組織に移行します。両者は、未来の世代を守るためにアースポジティブな意思決定を可能にするこれまでにない情報を提供する、という共通の志のもとで協力していきます。

この大きな一歩を踏み出すことで、CDPは、重点領域への取り組みを一層強化し、世界的なインパクトの創出を加速させるとともに、その使命をより大規模に実現する力を高めてまいります。

CDP Foundation: 科学 & 方法論
最先端の科学を実践可能な開示手法へと変換し、CDPの質問書バンクの戦略的進化に貢献する科学主導の原則と優先事項を提供する非営利団体。

CDP: 開示と & インサイト
CDP Foundationとの連携のもと、世界で最も包括的な環境インサイトおよび開示システムの展開に注力し、信頼性が高く意思決定に直結するデータと強化されたツールをお客様に提供します。

ミッションの加速に向けた投資

この変革においてCDPを支援するのが、サステナビリティと責任投資に長年取り組んでいる世界有数の投資会社Permiraです。営利事業体であるCDPIは、Permiraのエネルギー転換投資戦略における中核的な投資案件となります。同社は、同様に意欲的な組織と提携し、そのミッションの推進とインパクトの拡大を支援してきた長い実績を有しています。このパートナーシップは、人材、技術、イノベーションへの投資拡大を通じて、CDPが大規模に成果を出す能力を強化します。

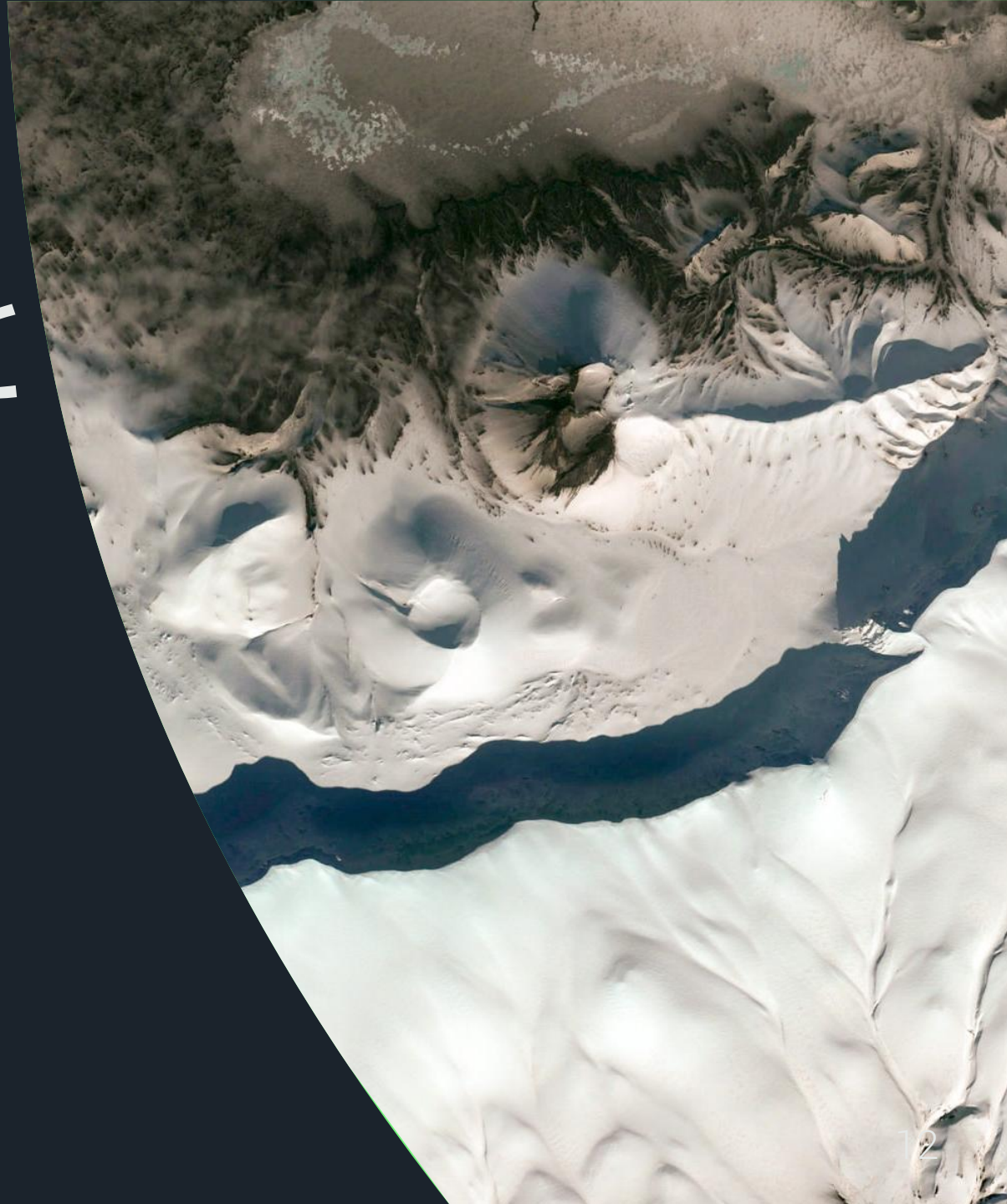
これがお客様にとって意味すること

- CDPは、環境情報開示における皆様の信頼できるパートナーであり続けます。世界的に比較可能で、意思決定に活用できるデータとインサイトを提供するという私たちの優先事項は、さらに強化され、より明確になります。
- CDPのデータモデルとメソドロジーにおける完全性、独立性、比較可能性は、引き続き私たちの運営の基盤です。
- この体制により、CDPIはツール、データプロダクト、サービスの強化をより迅速に進め、市場が求める、より効果的でシームレスなサービスを提供できるようになります。
- これには、企業にとっての開示エクスペリエンスの有意義な強化に加え、世界各地で環境リスクとレジリエンス、投資判断、サステナビリティ戦略に役立つ、データから導き出されるインサイトの大幅な改善が含まれます。
- 2026年の開示サイクルに影響はなく、予定どおり継続されます。2026年版 Disclosure Hubに関するすべてのガイダンスは、引き続き正確です。
- 通常の連絡先に変更はありません。

ご質問はありますか？ヘルプセンターまでお問い合わせいただくか、
cdp.net/en/about/cdp-and-cdp-foundation をご覧ください。



質問書の枠組みと スコアリング基準



CDPの コーポレート スコアについて



CDP は、気候変動、フォレスト、水セキュリティの各環境課題について、企業ごとに個別のスコアを付与します。



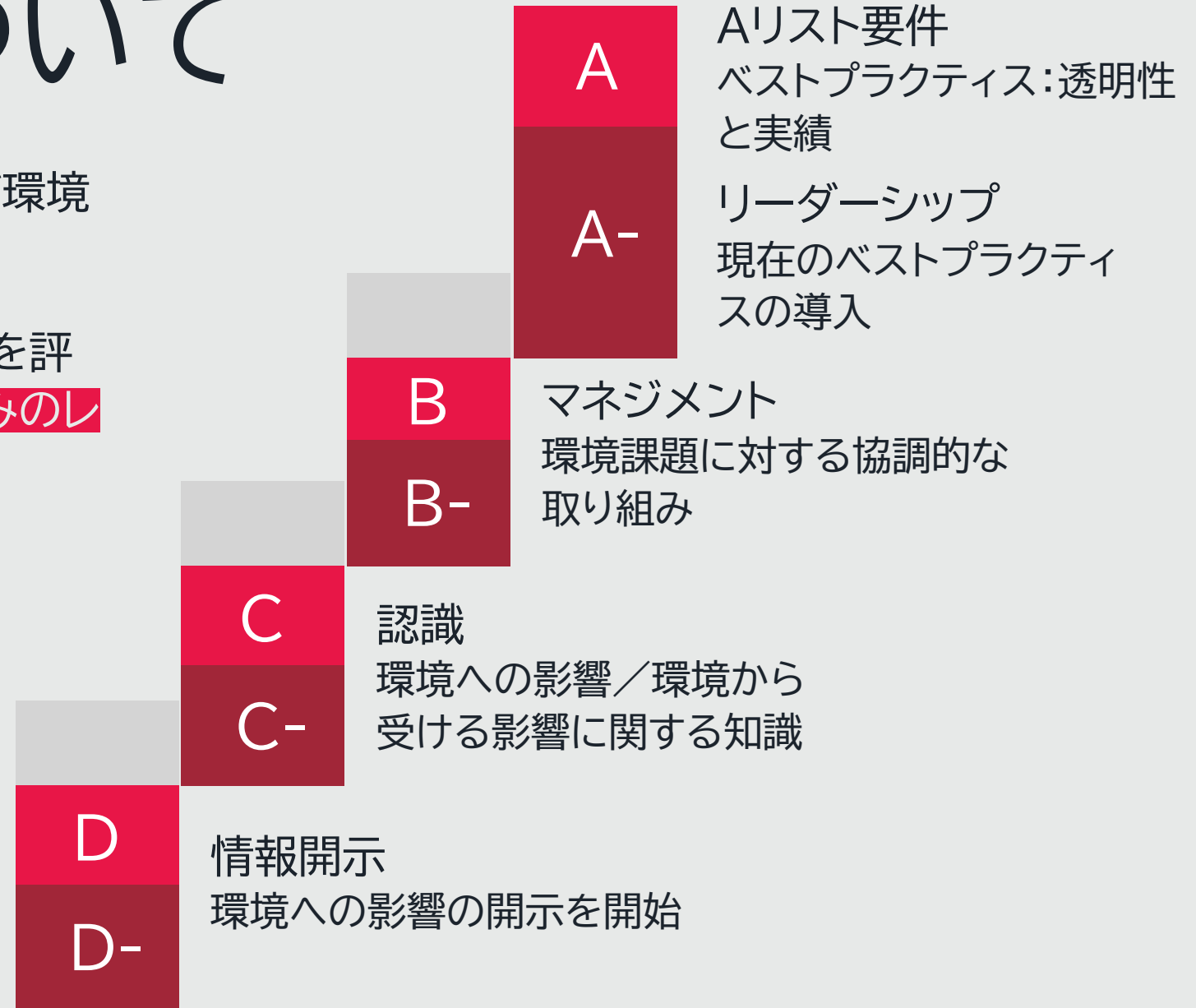
プラスチック、生物多様性および海洋については、引き続きスコアリング対象外となります。これは、より多くの企業がこれらの環境課題の情報開示を開始できるよう支援するためです。



CDPスコアについて

CDPスコアは、企業の情報開示状況および環境パフォーマンスの概況を示すものです。

スコアは、報告年内に企業が環境への影響を評価・管理するために実施した報告と取り組みのレベルを示しています。



スコアリングイントロダクション

必須要件の適用

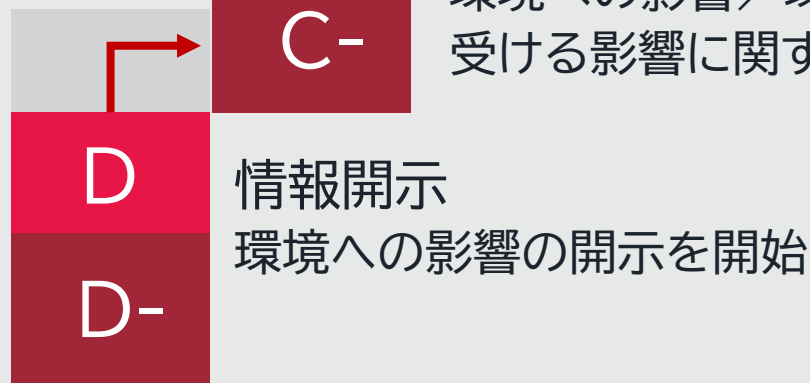
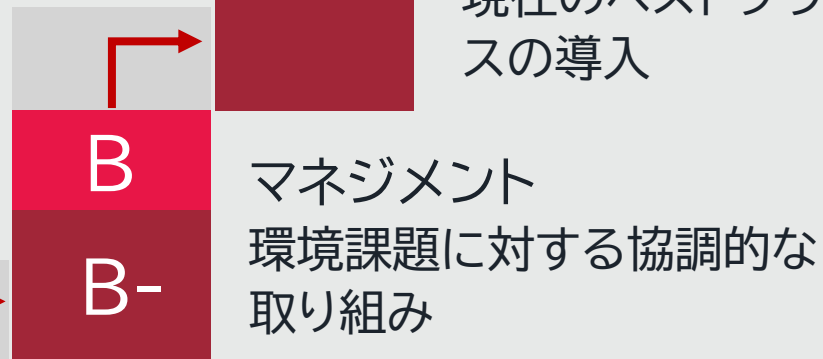
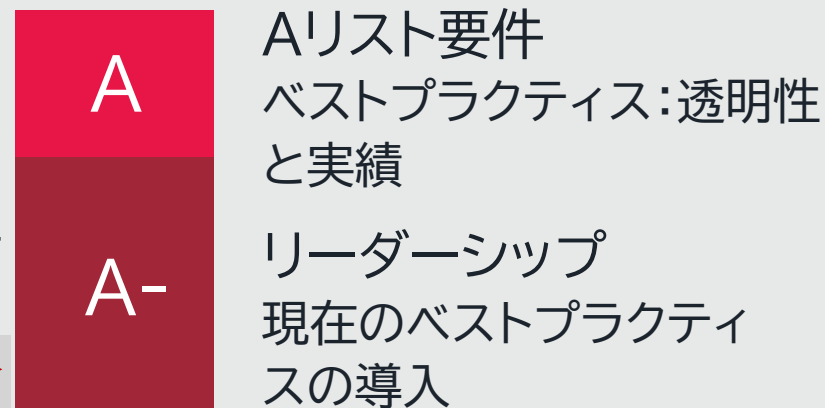
企業が次のレベルに進む前に、**最低限の特定要件**を満たしていることを担保する仕組みです。

Aリストに必要な
すべての必須要件を満たす

リーダーシップに必要な
すべての必須要件を満たす

マネジメントに必要な
すべての必須要件を満たす

認識に必要な
すべての必須要件を満たす



必須要件
気候変動
水セキュリティ
フォレスト

必須要件

気候変動

EC-CC1



リスクと機会(認識)

[全セクター:金融サービスを除く]

- 除外:マネジメントおよびリーダーシップレベルの必須要件
- 組織が環境リスクの特定、評価、および管理プロセスの質を評価することを求める要件が新たに追加されました。
- 質問2.2.2では、「気候変動」と「リスク」を同じ行から選択する必要があります。

EC-CC2

金融サービスのみ



リスクと機会(認識)

- 上記と同様ですが、金融セクターおよび質問2.2.6に適用されます。

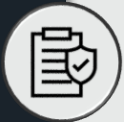
EC-CC4



インセンティブ(Aリスト& リーダーシップ)

- 事業を行う地域の法的制約により、経営層へのインセンティブを提供できない場合、組織は当該必須要件を満たしたものとみなされます。
- Aリストおよびリーダーシップの適格性は、質問4.5および4.5.1の回答内容に基づいて評価されます。

EC-CC17



検証(Aリスト)

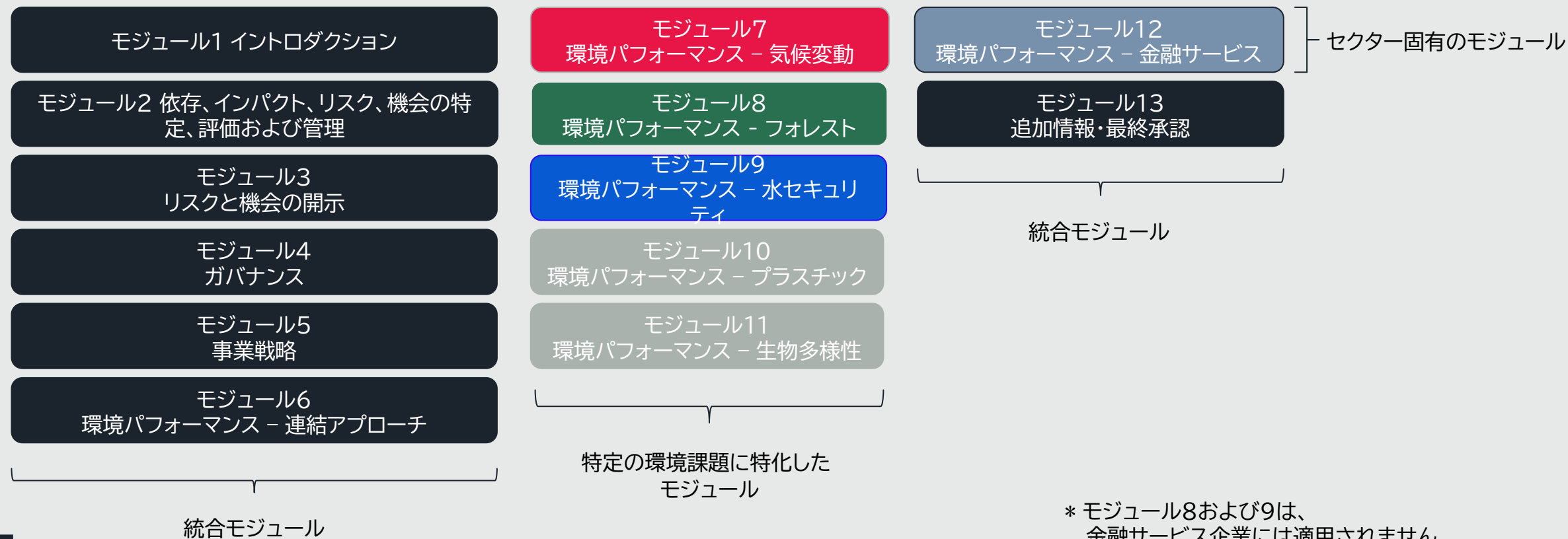
[全セクター]

- リーダーシップレベルを得るには、組織は、報告したスコープ3の全カテゴリーのうち、少なくとも70%をカバーする第三者検証を受けることが求められます。



2026年 完全版コーポレート質問書

内容と構成



コーポレートSME版質問書

内容と構成

モジュール14
中小企業向けイントロダクション

モジュール15
中小企業のリスクと機会の特定、評価、管理

モジュール16
中小企業のリスクと機会の開示

モジュール17
中小企業のガバナンス

モジュール
18中小企業の事業戦略

モジュール19
中小企業の環境パフォーマンス 統合的アプローチ

モジュール20
中小企業の環境パフォーマンスー
気候変動

モジュール21
中小企業の環境パフォーマンス
フォレスト

モジュール22
中小企業の環境パフォーマンス
水セキュリティ

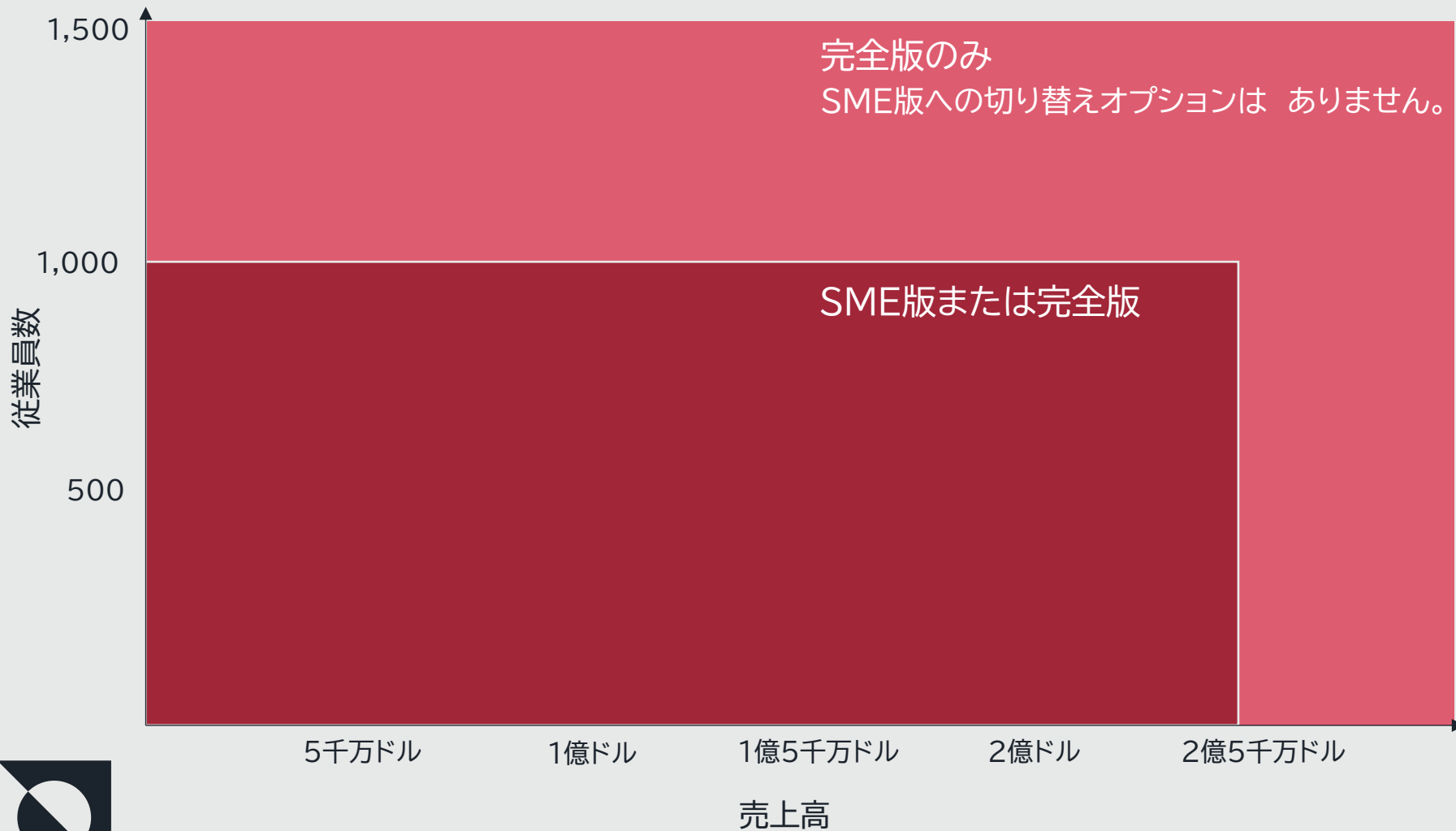
モジュール23
中小企業の詳細情報と最終承認

■ 統合モジュール

■ 特定の環境課題に特化したモジュール



企業規模に合わせた2つの質問書(完全版・SME版)



質問書の適格基準:

- SME版または完全版:
正規従業員数 < 1,000名
かつ
売上高 < 2億5,000万米ドル
- 完全版(SME版への切り替え
オプションなし):
正規従業員数 ≥ 1,000名
または
売上高 ≥ 2億5,000万米ドル

注: RE100から要請を受け
た企業は、SME向け質問書
の対象外となります。



環境課題

コーポレート完全版質問書

環境課題		完全版の質問書での取り扱い
	気候変動 および生物多様性	全ての情報開示組織が対象となる
	フォレスト	以下のいずれかの形で情報開示の要請を受けた場合に対象となる： • CDPの回答要請機関（キャピタルマーケット、サプライチェーン、バンク要請など、回答要請機関が貴社にフォレスト、水セキュリティ、またはその両方に関するデータ提出を求めたかどうか） • 質問書の設定時の産業別インパクト分類（質問書の設定の一環で、CDP-ACSに基づく産業活動の各環境課題へのインパクトが売上金額/割合の閾値に達したかどうか） • 自己評価（質問書の設定の「環境課題の評価」部分において、フォレストや水セキュリティ関連の重大な課題を特定したと回答したかどうか） 上記すべてに該当しない場合： • オプトイン でフォレスト／水セキュリティの情報開示を選択可能
	水セキュリティ	
	プラスチック	• 自己評価（質問書の設定の「環境課題の評価」部分において、プラスチックや海洋関連の重大な課題を特定したと回答したかどうか） 該当しない場合、以下の選択肢があります： • オプトイン でプラスチック／海洋の情報開示を選択可能
	海洋	

質問書設定の手順

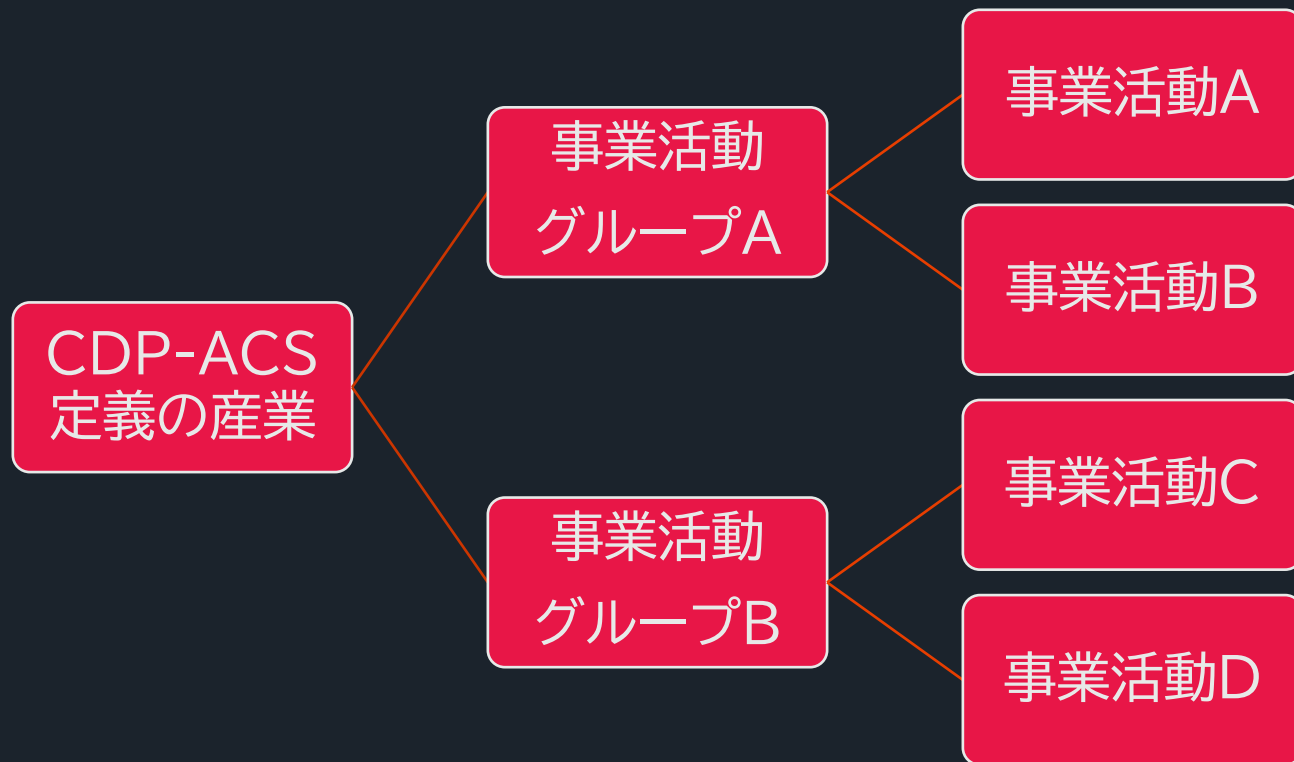
貴組織について	報告年の年間売上高(USドル)
	総従業員数(人員数)
	完全版またはSME版質問書の 適格性
活動分類	CDP活動分類システム (CDP-ACS)に基づく事業活動
環境課題の評価	フォレスト、水セキュリティ、 プラスチックおよび海洋 に関する依存、インパクト、リスクおよび機会の評価と特定
提出の意思	気候変動に関する情報開示要請
	追加の環境課題に関する情報開示要請
	提出の意思
追加情報	コモディティの情報開示
	報告期間内における鉱山および鉱業プロジェクトの操業

注:開示サイクル中に貴社が顧客からの新たな回答要請を受諾した場合、質問書の設定を再度完了するよう求められます。
この手順を最初に完了した際の内容が**過去に回答を提出している場合のコピーフォワード機能に反映されます。**



CDP活動分類

質問書のセクター割り当てに必要



売上分割の記入例:

Company B CDP activity allocation:

CDP-ACS Activity	Questionnaire Sector	Revenue % Associated with Activity
Logistics - transport	Transport Services	27.5
Industrial machinery	Capital goods	26
Engines & motors	Transport OEMS – EPM	22.5
Other renewable energy equipment	Capital goods	15
Alternative vehicles	Transport OEMS – EPM	6
Specialty chemicals	Chemicals	3

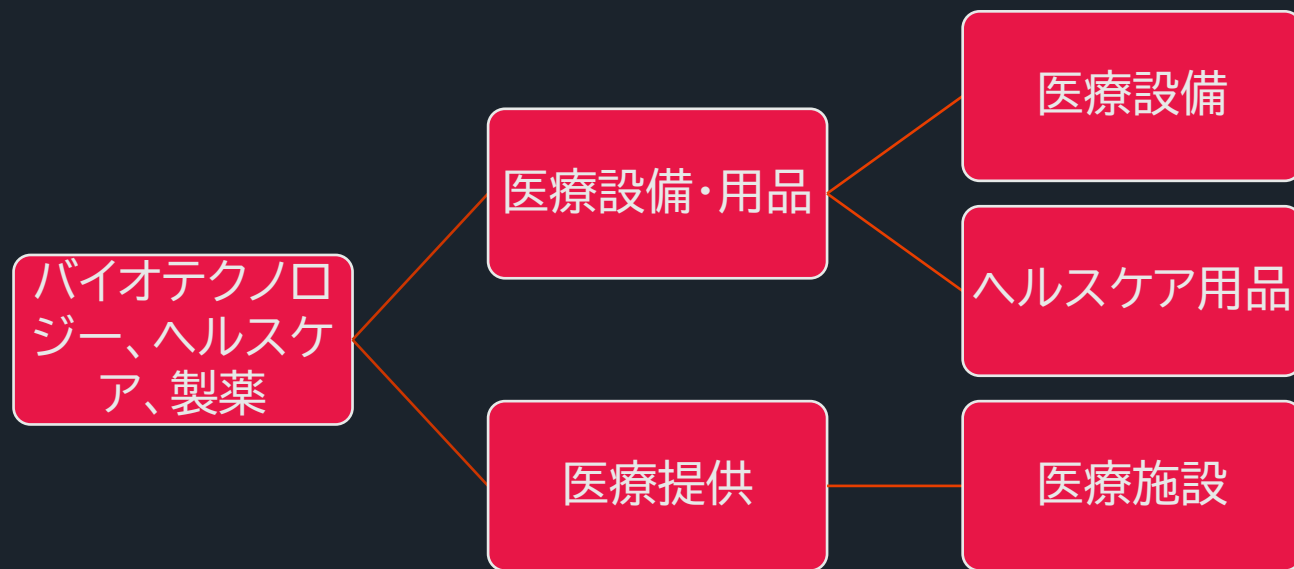


CDP活動分類システム (CDP-ACS)

質問書設定で提供されたすべての情報は、CDPと情報開示組織である回答者との間で厳重に機密として扱われます。

CDP活動分類

質問書のセクター割り当てに必要



例：バイオテクノロジー、ヘルスケア、および製薬業界

CDP活動分類システム (CDP-ACS)

売上分割の記入例：

Company B CDP activity allocation:

CDP-ACS Activity	Questionnaire Sector	Revenue % Associated with Activity
Logistics - transport	Transport Services	27.5
Industrial machinery	Capital goods	26
Engines & motors	Transport OEMS – EPM	22.5
Other renewable energy equipment	Capital goods	15
Alternative vehicles	Transport OEMS – EPM	6
Specialty chemicals	Chemicals	3

質問書設定で提供されたすべての情報は、CDPと情報開示組織である回答者との間で厳重に機密として扱われます。

質問書セクター

気候変動

農業& 土地利用セクター

- 農産物(AC)
- 食品・飲料・タバコ(FB)
- 製紙・林業(PF)

エネルギーセクター

- 石炭(CO)
- エネルギー公益事業および発電事業(EU)
- 石油・ガス(OG)

素材・建築セクター

- セメント(CE)
- 化学品(CH)
- 金属・鉱業(MM)
- 鉄鋼(ST)
- 資本財(CG)
- 建設(CN)
- 不動産(RE)

輸送セクター

- 航空(AV)
- 輸送OEMS(TO)
- 輸送サービス(TS)

サービスセクター

- 金融サービス(FS)

CDP活動分類システム (CDP-ACS)



回答ステータス

提出時に選択

回答の公開*

- 回答はすべての要請元機関(キャピタルマーケットツ署名機関、顧客など)に公開されます
- 回答は、すべての一般公開データ利用者に提供されます。

回答の非公開

- 回答はすべての要請元機関(キャピタルマーケットツ署名機関、顧客など)に公開されます
- 回答は、匿名化または集計がされた形でない限り、要請元機関以外には公開されません。



*回答を公開で提出することは、リーダーシップレベルでスコアを得るための要件の一つです。
開示に関する条件

スコア公開状況

スコア非公開の申請*

該当する環境課題に対して初めて回答を提出する企業のみ

スコアの公開**

- スコアは、すべての回答要請元、CDPのウェブサイト、およびすべてのスコアデータセットで閲覧可能です。

スコアの非公開

- スコアは、回答企業とサプライチェーン上の顧客(該当する場合)のみが閲覧できます。*Aを取得した場合を除く

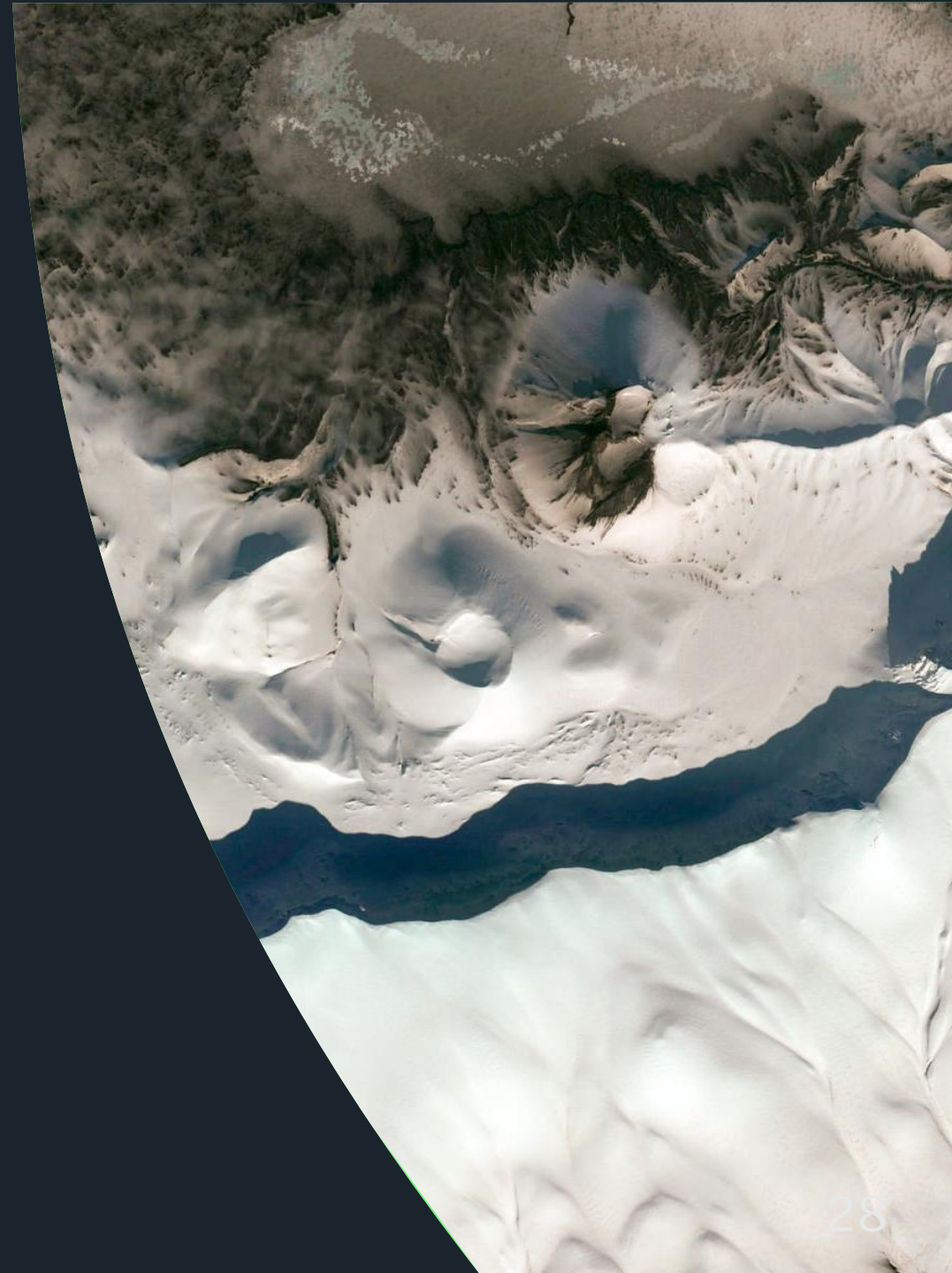
* スコアの非公開を申請できるのは、その環境課題(気候変動、フォレスト、水セキュリティ)に初めて開示する企業のみです。スコアの非公開を希望する対象企業は、CDPヘルプセンターよりケースを提出して申請してください。

**CDPキャピタルマーケットツより開示要請を受け企業および自主回答の企業 のスコアは、すべてデフォルトで「公開」となっています。



開示に関する条件

情報開示プラットフォーム



ユーザーと役割

	情報開示提出責任者*	情報開示共同編集者
質問書設定の編集および提出	✓	✓
チームメンバーの追加と削除	✓	✓
チームメンバー役割の編集**	✓	✓
組織の現地言語名、ウェブサイト、組織概要、 ロゴの確認および編集	✓	✓
提出済み回答の修正	✓	✓
CDPの「情報開示規約」への同意	✓	×
回答要請の管理	✓	×
回答事務費用の支払い手続き	✓	×
組織の質問書回答の提出	✓	×
修正回答の再提出	✓	×

* この役割を希望するユーザー自身が、本役割を選択し、CDPの情報開示規約に同意する必要があります。

他のユーザーがこの役割を割り当てることはできません。

* **1組織につき1名のみ** 設定できます。

** 情報開示提出責任者の権限は編集不可

情報開示組織向け: 情報開示者の役割とチームメンバーの管理



CDPダッシュボードへのアクセス方法

CDPのシステムを初めて利用される方へ

- 開示サイクルが開始されたら、CDPヘルプセンターより入手可能な**情報開示登録フォーム**に記入してください
- 記入に必要な情報：*英語で入力してください
 - 貴組織の**DUNS番号**
 - 連絡可能な 勤務先メールアドレス
 - 貴組織の 正式な登録住所
 - 該当する場合 - 本サイクルで貴組織に情報開示を要請した組織および/またはイニシアチブの正式名称による回答要請機関名(複数可能)

Register to disclose

Thank you for taking the first steps to start your disclosure through CDP.

You should complete this form if your organization is disclosing through CDP for the **first-time** and require access to the CDP Portal to start your disclosure.

If you have colleagues with access to the CDP Portal, we encourage you to contact them instead, to assist with adding you to your organization's CDP Portal account directly.

Please complete this form in English as best as you can to ensure you are accurately matched to your organization.

Please select your purpose for this registration:

My customer(s) and/or CDP Capital Market signatories have requested my organization to disclose through CDP

My organization has not been formally requested to disclose by anyone but would like to disclose through CDP independently

I am part of a City, State or Region that would like to disclose through CDP



参照: 開示登録(Register to disclose)フォームの記入方法

情報開示者向けポータル - ホーム

- CDPポータルのホームには、開示サイクルの段階に応じて関連情報が表示されます
- 進捗とリソースを管理するための推奨タスクリスト
- 開示に関する進捗状況の概要を確認
- ガイダンスやサポートへの迅速なアクセス

The screenshot shows the home page of the CDPTest Pre-ASP Samuel Hayashi portal. The left sidebar contains navigation links: Home (selected), Questionnaire, Requests, Reset, Settings, Help, Give feedback, and Log out. The main content area displays the user's name, a progress bar for the 'Respond' phase, and a summary of questionnaire progress. A 'Continue questionnaire' button is visible. Below this, a section titled 'Questionnaire setup complete' includes an 'Edit questionnaire setup' link. A 'You have 1 requests' section shows that 1 organization is requesting disclosure. An 'Admin fee' section explains that some organizations pay a fee to disclose through CDP, and a warning states 'You must select a fee'.

CDPTest Pre-ASP Samuel Hayashi

Respond

Final response deadline: week of October 26 Phase 2 of 3

Questionnaire Progress	Answered Questions	Reviewed Questions	Skipped Questions
0%	0	0	0

Continue questionnaire

Sections Completed	Unanswered Questions	In Progress Questions
0/10	78	0

Questionnaire setup complete

Edit questionnaire setup

You have 1 requests

1 organizations are requesting you to disclose through CDP.

Admin fee

Some organizations pay an admin fee to disclose through CDP. As a not-for-profit organization, we rely on funding from a range of sources. This fee helps us cover our costs so we can keep delivering our services at a global scale.

You must select a fee



回答要請の確認方法

The screenshot displays the 'Request Summary' (要請済み) tab in the CDP Capital Markets Request 2026 Sample Methodology interface. The left sidebar contains navigation links: Home (ホーム), Questions (質問書), Request Summary (要請済み), and Scores (スコア). The main content area shows a summary of requests and a table of request details.

回答要請

毎年、さまざまな組織がCDPを通じて環境情報を報告するよう開示対象組織に要請しています。どのような機関から開示要請を受けているかを確認し、「子会社」タブを通じて貴組織のバウンダリ内の子会社が受けた回答要請を貴組織にマージすることができます。

6月17日以降に新規の回答要請を受けた場合、「紐づけ可否の確認」タブ内に表示され、その回答要請を承諾するかしないかを決定することができます。

新規の回答要請を承諾、またはマージする場合、質問書の設定を再送信する必要があります。これは、貴組織の質問書への回答作成には影響しません。

回答の意思を表明することにより、[情報開示規約](#)に同意したものとみなされます。

貴組織は、CDPに参加する640を超えるキャピタルマーケット署名機関から回答要請を受けている可能性があります。

要請済み 2 子会社 5

回答要請機関 ↑	回答要請機関の種類	環境課題	要請日 (目安)
CDP Capital Markets	CDP Capital Markets	気候変動, フォレスト, 水セキュリティ	Apr 27, 2026
[Redacted]	Supply Chain	気候変動	Jun 8, 2026

Rows per page: 25 1-2 of 2 < >

- 「要請済み」タブ - 貴組織に回答を要請している回答要請機関名、回答要請機関の種類、環境課題、要請日が表示されます。
- 「子会社」タブ - 貴組織に紐づけされた子会社宛に届いた回答要請が表示されます。



[CDP Capital Markets Request 2026 Sample Methodology](#)

[ナレッジ記事 情報開示組織向け: 回答要請の管理](#)

子会社宛の回答要請の確認/親組織への紐づけ

要請済み 子会社 5	
回答要請を受けた組織	回答要請ステータス
██████████	Requested >
██████████	Requested >
██████████	Requested >
██████████	Requested >
██████████	Requested >

Subsidiary Example

環境課題 Climate	回答要請件数 2
回答要請機関の種類 キャピタルマーケット - 自主回答、 サプライチェーン	投資家からの招待 はい

回答開示要請をマージする

Subsidiary Exampleと貴組織の回答開示要請をマージすることにより、当該組織に代わり、貴組織が回答することに同意するものとします。Subsidiary Exampleが受領したすべての回答開示要請が貴組織の要請リストに表示されます。Subsidiary Exampleは貴組織がこの操作を行ったことを確認できます。

回答開示要請をマージする

- 「子会社」タブ- 親会社が子会社宛の回答要請の閲覧および統合(マージ)を行うことができます



CDP Capital Markets Request 2026 Sample Methodology

ナレッジ記事 情報開示組織向け:回答要請の管理

開示サイクル開始後に届いた回答要請の対応方法

You may have a request from CDP's 640+ Capital Markets Signatories.

REQUESTED 7 **FOR REVIEW 3** SUBSIDIARIES 4

Requested organization	Requester	Issue	Request date	Request status
Example Company	Example Requester	  	Jun 26, 2025	Pending 
Example Company2	Example Requester2		Jun 29, 2025	Pending 
Example Company3	Example Requester3		Jun 25, 2025	Pending 

- “紐づけ可否の確認(FOR REVIEW)” – 開示サイクル開始後に届いた回答要請が表示されます。
タブを開いたら、右端にある矢印をクリックして進みます。
- 保留中の遅延リクエストを承認する場合は承認をクリックします。するとそのリクエストは、“紐づけ可否の確認”から“要請済み”タブへ移動します。保留中の遅延リクエストを承認されない場合は、拒否をクリックしてください。
- 既に回答を提出済みの場合は、新しい回答要請を承認する前に、必ず「回答を編集」をクリックして質問書設定を再提出してください。

Review request from Example Requester

Issue    Request date Jun 26, 2025

Requester type Company

Do you want to share data with this organization?

If you accept this request, you'll need to resubmit your questionnaire setup. Example Requester understands that this is a late request and that you might not be able to respond.

Decline **Accept**

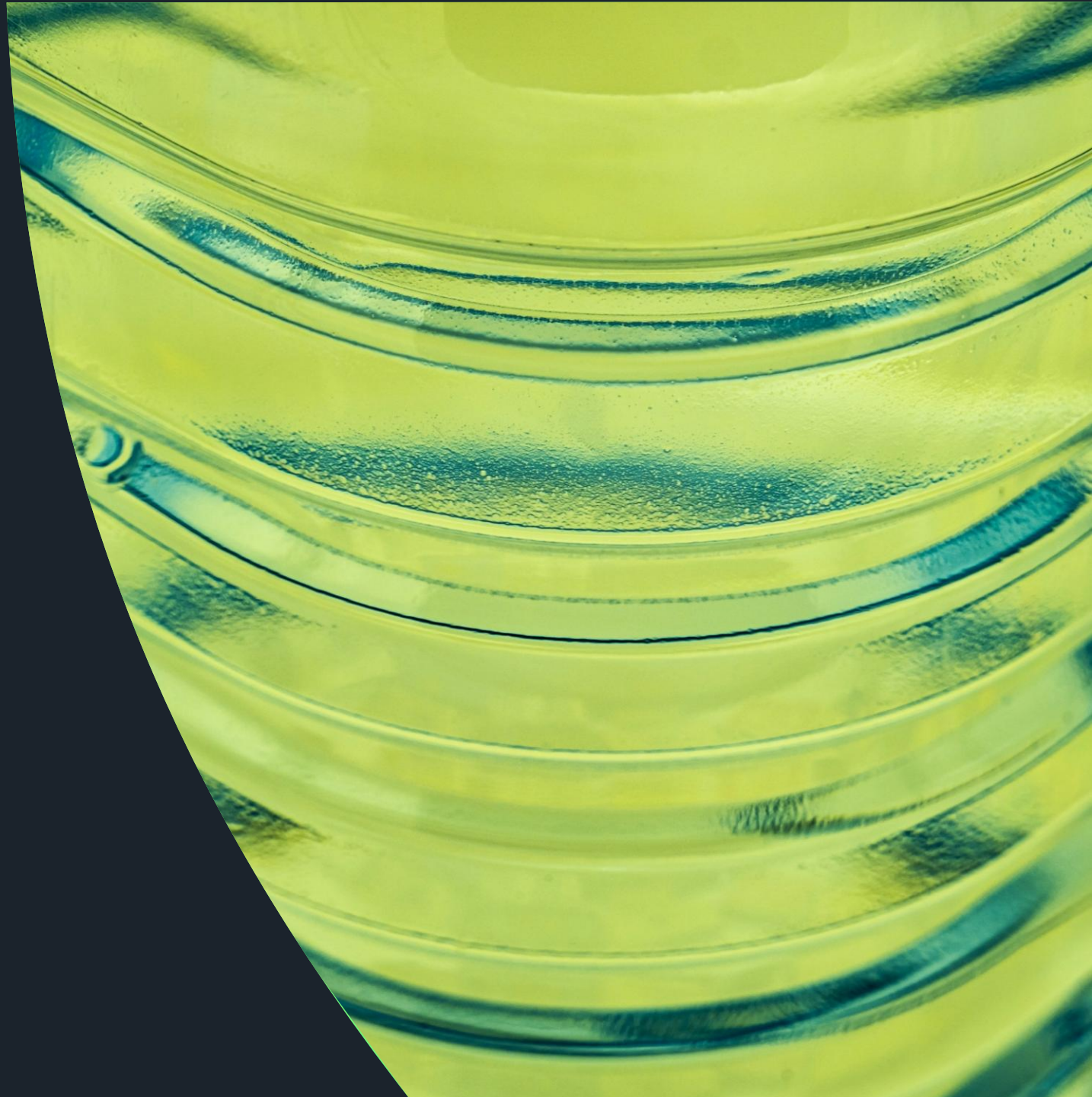


CDP Capital Markets Request 2026 Sample Methodology

ナレッジ記事 情報開示組織向け:回答要請の管理

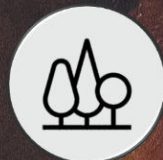


2026 質問書全体の 変更点



2026質問書

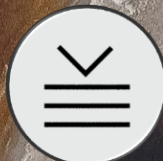
フォレスト



海洋



適応と
レジリエンス



プラスチック

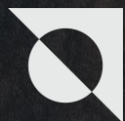


SME
(中小企業)



主な変更点

- カカオ、コーヒー、天然ゴムに関する回答がスコアリング対象になります。
- 森林減少、生態系転換なしに関する報告を修正しました。
- 共通質問に**海洋の質問**を導入。どの企業も自主的に回答でき、特に海洋に対してインパクトの大きい企業は回答を推奨します。(回答必須ではない)
- 質問内容を更新し、リスクと機会の評価やガバナンス、戦略、財務計画、エンゲージメントにおいて、どのように企業が適応とレジリエンスを考慮しているかについて尋ねます
- **プラスチックの質問**は、どの企業も自主的に回答できます。(回答必須ではない)
- 質問内容を更新し、エレンマッカーサー財団のグローバルコミットメントに完全整合しました。
- フォレスト、水セキュリティの質問を導入しました。
- 気候変動質問において、SME Aスコアを導入しました。



フォレスト

- 森林減少・自然生態系の転換リスクの高い、7つのコモディティ全てが、必須要件*も含めスコアリング対象になります。 *金融セクターは対象外



2025年以前から既にスコアリング対象

2026年から新たにスコアリング対象

- この7つのコモディティは、EUDR(欧州森林破壊防止規則)の対象です。
EUDRでは、サプライチェーンをさかのぼって、完全なトレーサビリティを確保し、森林減少のないコモディティであることのデューデリジェンスが求められます。
- スコアリング対象とするコモディティの拡大を考慮し、既存の「コモディティの完全開示」の必須要件を改訂し、量が少ないため、開示しない場合として許容される閾値をコモディティ総量の1%から5%に引き上げました。



海洋(オーシャン)の導入

海洋関連データの開示に対する要望

- **投資判断に活用できる質の高い海洋関連データの強化を求める共同ステートメント**
(BNP Paribas Asset Management, Federated Hermes Limited, Mirova, Robeco, Storebrand Asset Management)
- **UNEP FI サステナブル・ブルーエコノミー・ファイナンス・イニシアチブ**
80以上の加盟機関(総資産11兆米ドル相当)は、金融機関が持続可能なブルーエコノミーの意思決定に必要な海洋関連データを明確化する枠組みを構築
- **UNGC オーシャン・インベストメント・プロトコル**
金融機関および企業に対し、海洋経済へのインパクト、依存、リスク、意思決定プロセスに関する包括的なデータを開示するよう促し、より透明性が高く持続可能な投資を支援

- 回答対象となるセクターは設定されていませんが、重大な海洋関連への依存、インパクト、リスクまたは機会のある企業(漁業・養殖業、海運、海洋エネルギー等の活動)は、海洋関連の情報を報告することが強く推奨されます。

<海洋経済の8つの主要産業>

- 洋上石油・ガス
- 海洋機器・建設
- 水産物
- コンテナ海運
- 造船・修理
- クルーズ観光
- 港湾活動
- 洋上風力発電

参考:The Ocean 100: Transnational corporations in the ocean economy, Volume: 7, Issue: 3, DOI



適応とレジリエンス

リスク及び機会の評価、ガバナンス、事業戦略、財務計画、エンゲージメント活動の質問において、適応策とレジリエンスについてどのように取り組んでいるかをより報告しやすくなります。

モジュール1:
イントロダクション

モジュール2:
依存、インパクト、リスク、機会の特定、評価および管理

モジュール3:
リスクと機会の開示

モジュール4:
ガバナンス

モジュール5:
事業戦略

モジュール13:
追加情報・最終承認

[金融セクターのみ]DIRO評価でカバーされる投融資先

特定した機会

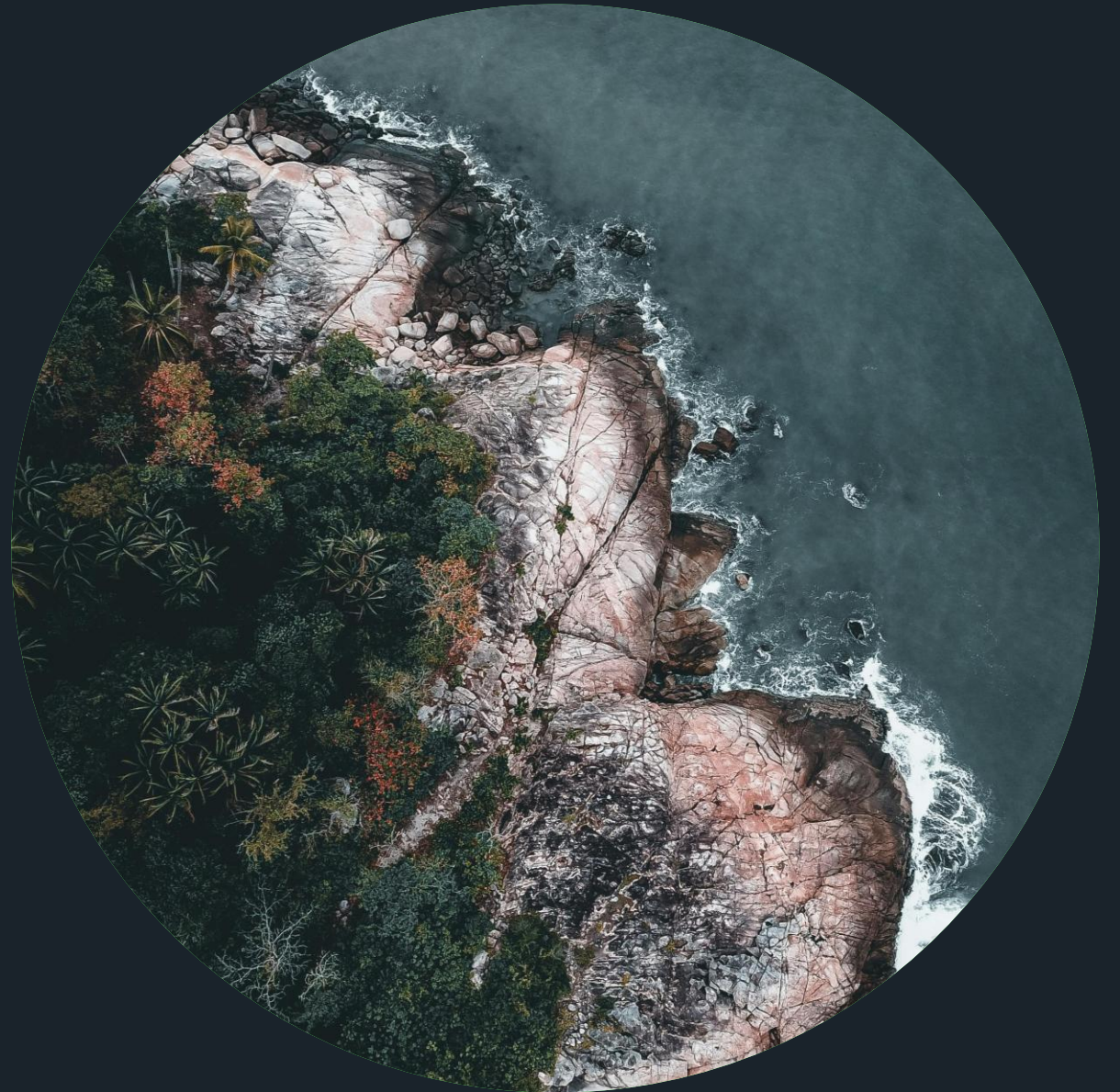
金銭的なインセンティブ
政策エンゲージメント
[金融セクターのみ]金融契約におけるコベナンツ

移行計画
バリューチェーンエンゲージメント



金融セクターには、適応や緩和を可能にする金融商品の開発に関する質問を導入

質問レベル 変更点



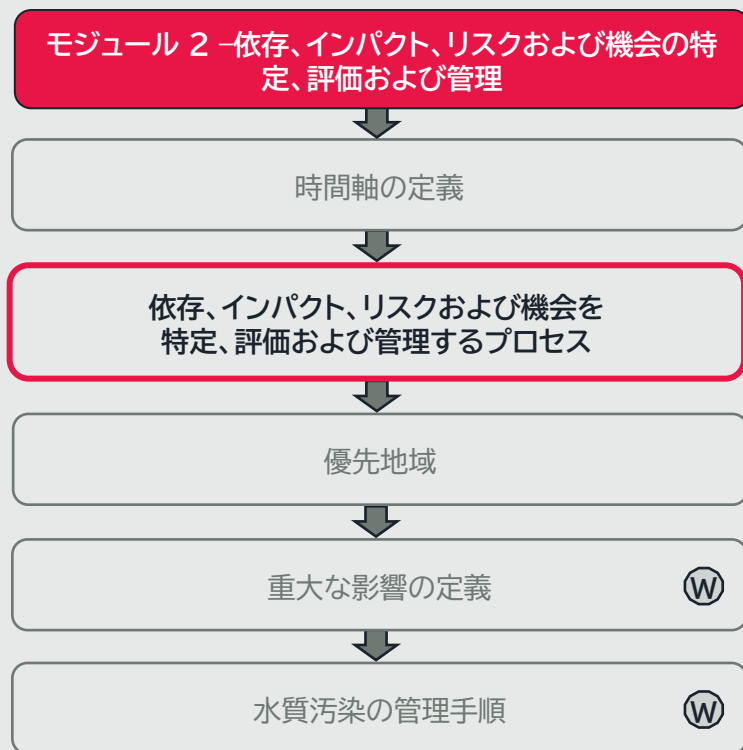
主要な変更点

モジュール1-6 および モジュール 13

モジュール1 イントロダクション	6	該当するモジュール において更新された 質問数
モジュール2 依存、インパクト、リスク、機会の特定、評価、および管理	10	
モジュール3 リスクと機会の開示	5	
モジュール4 ガバナンス	8	
モジュール5 事業戦略	24	
モジュール6 環境パフォーマンス – 連結アプローチ	1	
モジュール13 追加情報・最終承認	1	



モジュール 2: 「評価プロセス」の変更



質問の修正

2.2.2 環境への依存、インパクト、リスク、機会を特定、評価、管理する貴組織のプロセスの詳細を回答してください

新たな回答列:

- 列13 SBTNステップ1 [分析・評価 (Assess)]のプロセスを認定しましたか
- 列14 SBTNステップ1 [分析・評価 (Assess)]の公式認定レター

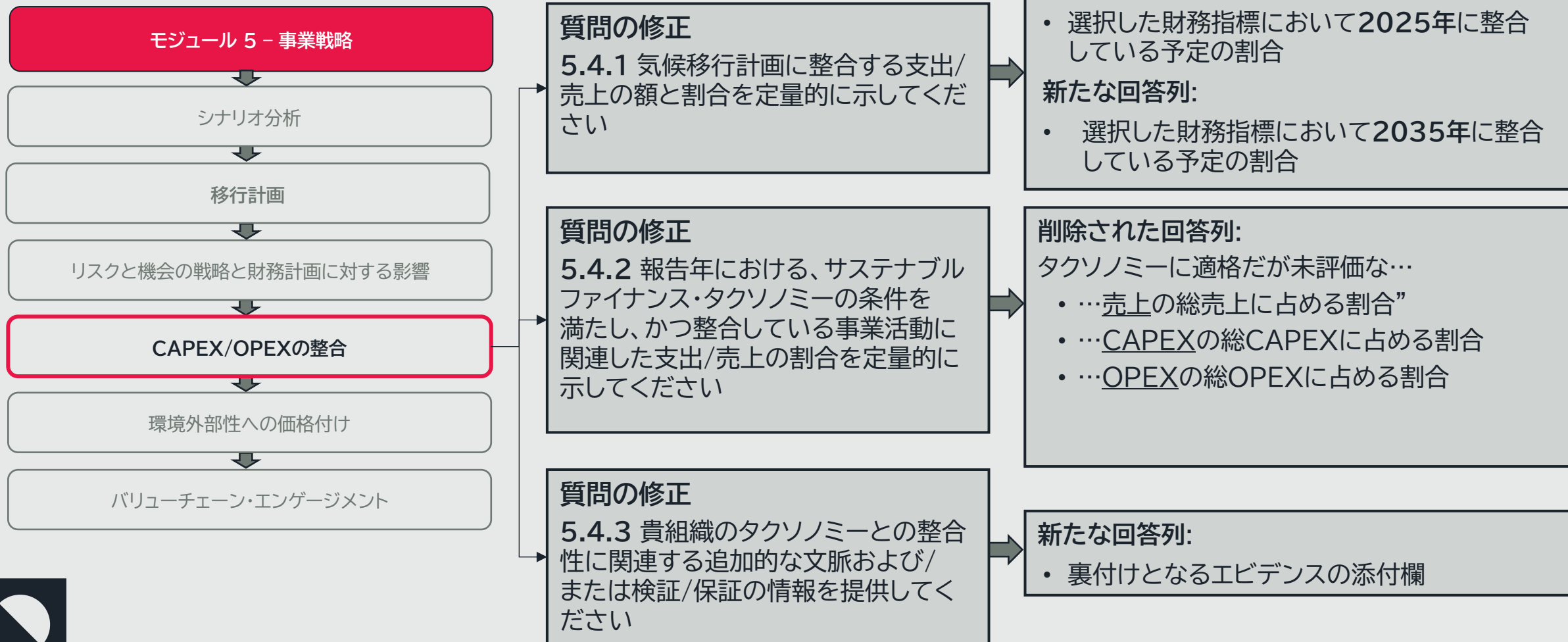
回答選択肢の変化:

- 列12 使用したツールや手法
- 列15 考慮されたリスクの種類と基準
- 列16 考慮されたパートナーやステークホルダー

2.2.6でも同様の
変更[FSセクター]

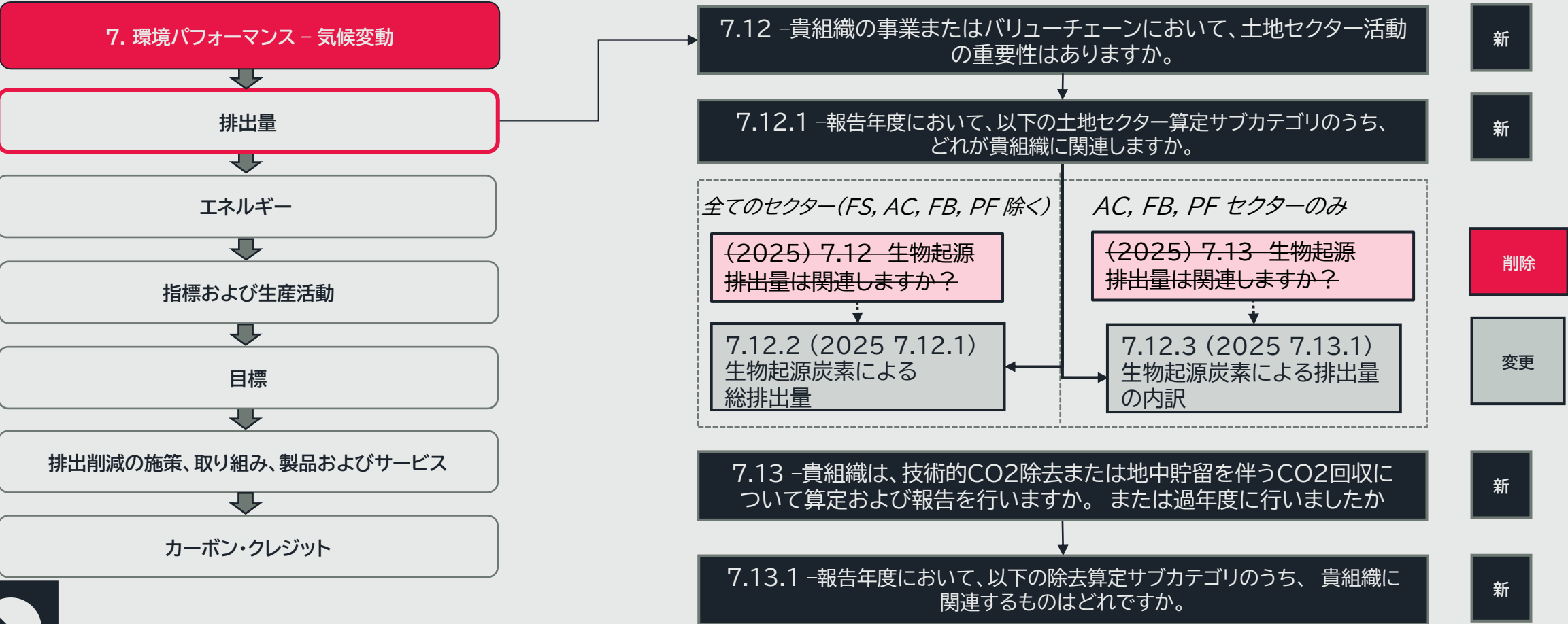


モジュール 5: 「CAPEX/OPEXの整合」の変更



モジュール 7:

「生物起源排出量」から「土地セクターおよび除去」への変更



モジュール 7: 「スコープ3排出量」の変更

7. 環境パフォーマンス – 気候変動

排出量

エネルギー

指標および生産活動

目標

排出削減の施策、取り組み、製品およびサービス

カーボン・クレジット

質問の修正 [Ⓒ]

7.1.3 7.1.1および/または7.1.2で報告した変更または誤りの結果として、組織の基準年排出量および過去の排出量について再計算が行われましたか

新たな回答列:

- ・ 列3 再計算されたスコープ3カテゴリ

質問の修正 [Ⓒ]

7.8 貴組織のスコープ3全世界総排出量を示すとともに、除外項目について開示および説明してください

新たな回答列:

- ・ 列5 このカテゴリが関連性ない理由

質問の修正 [Ⓒ]

7.9.3 スコープ3排出量に対して実施した検証/保証の詳細を記入し、関連する報告書を添付してください

新たな回答列:

- ・ 列9 報告対象のスコープ3排出量全体のうち検証済みの割合(%)

プルダウン選択肢の変更:

- ・ 列7 関連する検証基準



モジュール 7:

「目標」の変更

7. 環境パフォーマンス – 気候変動

排出量

エネルギー

指標および生産活動

目標

排出削減の施策、取り組み、製品およびサービス

カーボン・クレジット

質問の修正



7.53.3 排出量目標を設定しなかった理由、および今後5年間の排出量変化予測について説明してください

新たな回答列:

- 変化の方向に関する予測:
 - スコープ 1 排出量
 - スコープ 2 排出量
 - スコープ 3 排出量
- 変化の割合に関する予測:
 - スコープ 1 排出量
 - スコープ 2 排出量
 - スコープ 3 排出量





スコアリング 変更点



モジュール1

モジュール1 – イントロダクション

イントロダクション

組織の活動(セクター別のみ)

生産・調達したコモディティ

バリューチェーンマッピング

1.4 データの報告年の終了日を入力してください。排出量データについて、過去の報告年における排出量データを提供するか否かを明記してください

以下の対象となるスコアの更新 **C F W**

- ・ **マネジメントレベル**のスコアリングでは、2026年スコアリング方法論の要件に沿って、報告年の終了日が2024年10月1日から2026年10月1日の間に該当するかどうか新たに評価されます。

今回の更新により、スコアリングが2026年の開示サイクルと整合し、有効な報告期間が明確化されることで、開示されるデータが直近の報告年を反映したものであることが担保されます。



モジュール1

追加されたスライド

モジュール 1 – イントロダクション

イントロダクション



組織の活動(セクター別のみ)



生産・調達したコモディティ



バリューチェーンマッピング

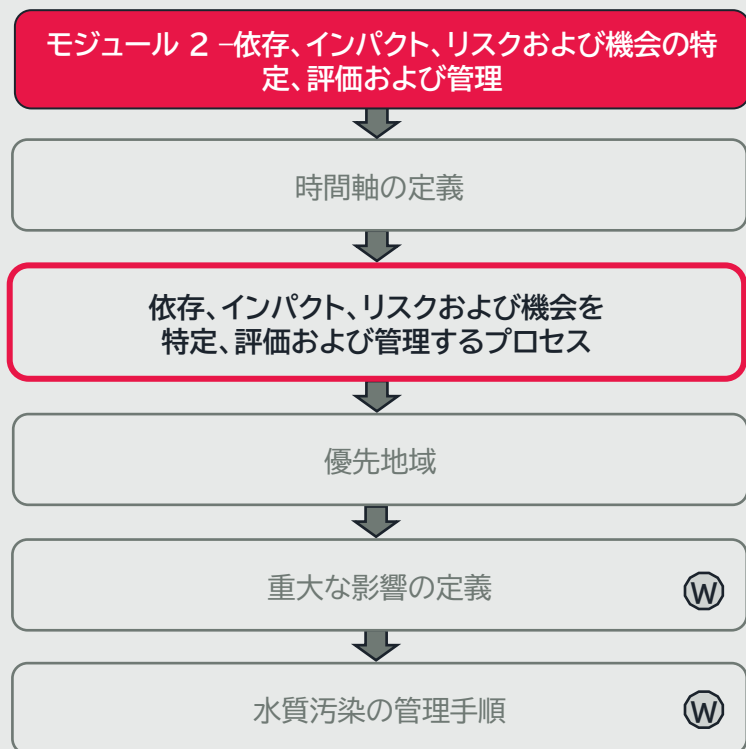
1.24 貴組織はバリューチェーンをマッピングしていますか。

対象となるスコアの更新 **C** **W** (金融サービスセクターを除く)

- ・ **リーダーシップレベル**では、上流バリューチェーンのマッピングを促進するため、「マッピングで対象としたバリューチェーンの段階 (Value chain stages covered in mapping)」の項目を用いて対象範囲を評価し、間接的な事業活動全体における依存、インパクト、リスクおよび機会の特定を強化します。



モジュール 2



2.2 貴組織には、環境への依存やインパクトを特定、評価、管理するプロセスがありますか

対象となるスコアの更新 C F W

- ・ **マネジメントレベル**では、依存とインパクトの双方の評価を促すため、新たな基準が導入されました。これには、質問2.2と2.2.2双方での選択内容に一貫性があることを確認するための、質問2.2.2とのクロスチェックが含まれます。 依存とインパクトの双方を評価することは、自然関連財務情報開示タスクフォース(TNFD)の要求事項です。



モジュール 3



3.1.1 報告年の間に貴組織に重大な影響を及ぼした、あるいは将来的に重大な影響を及ぼすことが見込まれると特定された環境リスクの詳細を記載してください

モジュール 3 – リスクおよび機会の開示

リスクの開示

罰則、行政指導等および/またはその他の処罰

カーボンプライシング・システム

機会の開示

2026年の新たな点:

認識・マネジメントレベル – 主な更新内容

認識レベルでのクロスチェック(3.1 ⇔ 3.1.1): 質問3.1で報告したバリューチェーンの段階は、質問3.1.1で言及する段階と整合している必要があり、各段階について具体例(該当する場合、直接操業およびバリューチェーン等)を示す必要があります。

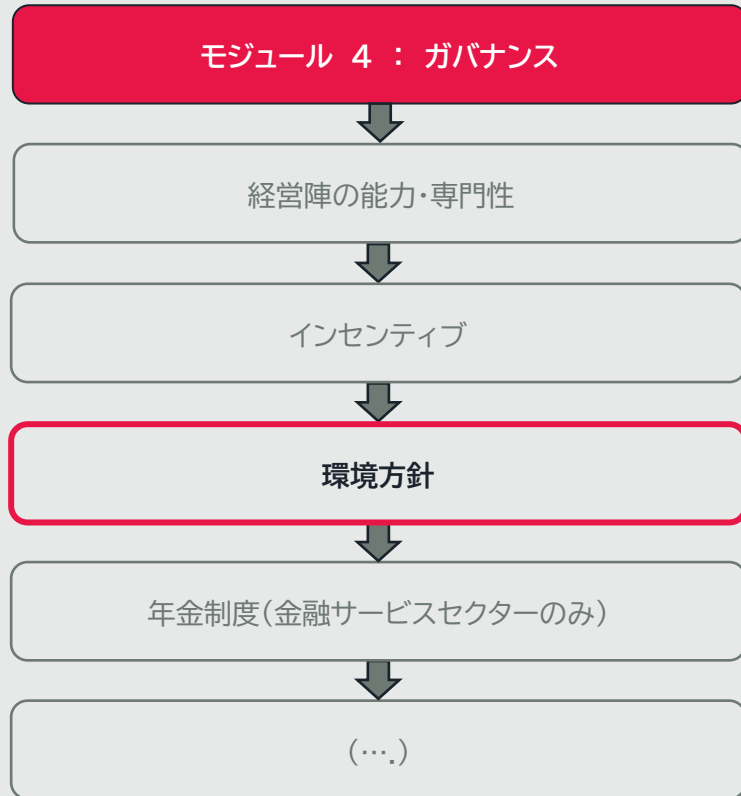
マネジメントレベルの更新: 「コスト算定方法の説明」欄への記入が新たな基準として求められ、コスト算定方法の開示が促されます。

2026年のベストプラクティス

- 認識の全基準(各行)と、マネジメントの全基準(質問2.2.2)を満たしている
- 関連する時間軸において財務影響額(0ドルを超える額)を報告している
- リスク対応コストと、そのコスト算定方法の説明を開示している

モジュール 4

追加されたスライド



4.6.1 貴組織の環境方針の詳細を記載してください。

対象となるスコアの更新 C F W

- ・ **リーダーシップレベル**では、既存の方針内容に関する要件に加え、環境方針が、パリ協定(気候変動)、昆明・モントリオール生物多様性枠組(フォレスト)、およびSDG6「安全な水とトイレを世界中に」(水セキュリティ)を含む主要な国際的枠組みと整合しているかを評価します。
- ・ この更新は、環境方針を関連する国際的な環境フレームワークと整合させることを促進し、さまざまな環境課題における方針コミットメントの信頼性と意欲を強化します。



モジュール5



5.11.6 貴組織の購買プロセスの一環としてサプライヤーが満たす必要がある環境関連の要求事項の詳細と、遵守のために実施する措置を具体的にお答えください

対象となるスコアの更新 **C F W** (FSセクターを除く)

- ・ **認識レベル**の基準が見直され、サプライヤーのカバレッジおよび要件を満たしていないサプライヤーへのエンゲージメントに関する追加のチェックを導入することで、サプライヤー要件の評価が強化されました。「不明」という回答はスコアリング対象から除外され、より完全かつ定量的な開示が求められます。
- ・ **マネジメントレベル**では、サプライヤーのコンプライアンス状況を報告する際に「報告期間中、すべてのサプライヤーが要件を遵守していた」を選択できるようになり、完全な遵守を達成した組織に適切な評価経路が用意されました。

5.11.7 貴組織の環境課題に関するサプライヤーエンゲージメントの詳細を記入してください

対象となるスコアの更新 **C F W**

- ・ **認識レベル**の適格基準が見直され、エンゲージメント対象となる1次サプライヤーの割合(調達支出ベース)と、関連するインパクト指標:スコープ3排出量のカバレッジ(気候変動)、あるいはエンゲージメント対象に含まれる重大なインパクトまたは依存を有するサプライヤー(フォレストおよび水セキュリティ)との間で、一貫した報告を行うことが促されます。

これにより5.11.6との評価アプローチが整合し、スコアリングの一貫性が強化されます。開示されるサプライヤーエンゲージメントの取り組みが、矛盾や不完全な開示ではなく、整合性があり比較可能なサプライヤーカバレッジ情報によって裏付けられていることを確保するものです。

モジュール7

7. 環境パフォーマンス – 気候変動

排出量

エネルギー

指標および生産活動

目標

排出削減の施策、取り組み、製品およびサービス

カーボン・クレジット

7.30.15 報告年度において、ゼロ排出またはほぼゼロ排出の排出係数で算定した電力購入の詳細を記載してください

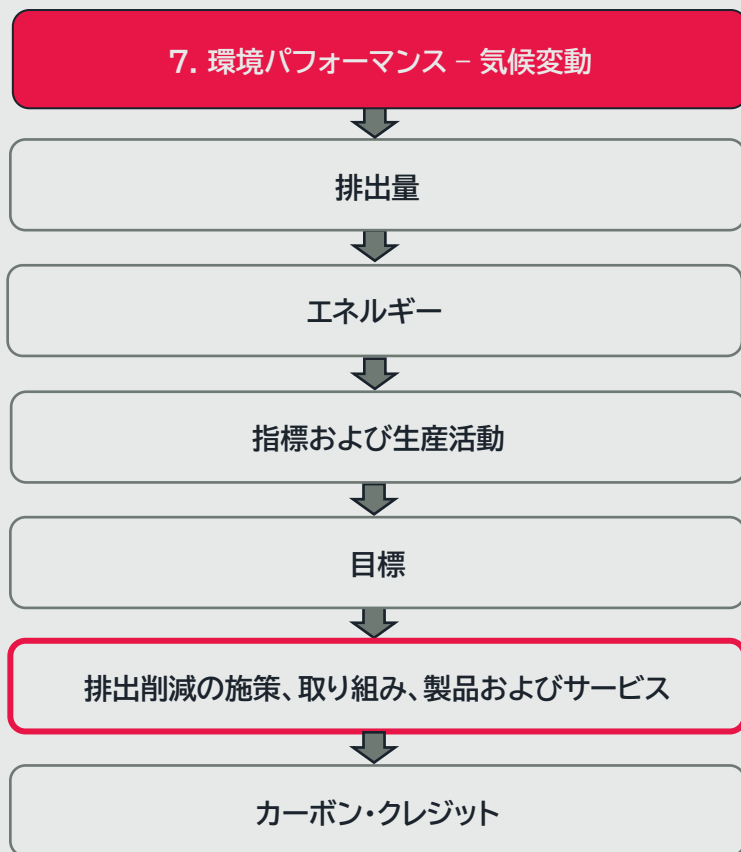
対象となるスコアの更新 **C** (FSセクターを除く)

- 前サイクルの質問7.30.14と7.30.17が、スコアリングを含めて統合されました：
 - これまで質問7.30.14(非RE100加盟組織向け)に回答していた組織については、**情報開示レベル**でスコアリング対象となる列が、質問統合に合わせて調整されます。
 - これまで質問7.30.17(RE100加盟組織向け)に回答していた組織については、**認識・マネジメント・リーダーシップレベル**の計算が、「再生可能電力の割合」ではなく「低炭素電力の割合」に基づいて行われるようになります。
 - 認識・マネジメント**の両レベルにおいて、購入を行わず自家発電による低炭素電力のみを消費する組織のための新たな評価ルートが設けられました。これは質問7.30.9とクロスチェックされます。
 - リーダーシップレベル**の前提条件は、マネジメントレベルの満点を獲得することのみとなりました。

RE100の考え方に沿い、**リーダーシップレベル**では、電力が発電された市場境界と同一の境界内で消費されている事が、スコアリング上より重視されるようになりました。



モジュール7



(7.30.15)報告年度において、ゼロ排出またはほぼゼロ排出の排出係数で算定した電力購入の詳細を記載してください

2026年の新たな点: (7.30.1 および 7.30.15)

低炭素エネルギーへの対象拡大

スコアリングは、再生可能電力のみではなく、低炭素電力(例:再生可能エネルギー、原子力、CCS<炭素回収・貯留>が導入された化石燃料発電所等)の割合を反映するようになりました。これにより、特定の技術に偏らない「技術中立的」なアプローチが後押しされます。

2026年のベストプラクティス: 影響度の高い調達手法の優先

- PPA/VPPAが、消費する低炭素電力全体の25%超を占めていること
- 低炭素電力の50%超が、稼働開始年が判明している発電施設由来であること
- 低炭素電力が、購入電力全体の50%を超えていること

新規: RE100の考え方に沿い、電力の消費が発電と同一の市場境界内で行われていること

2026年 タイムラインと 参考資料



2026年開示スケジュール

準備

開示

結果・分析への
アクセス

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

4月20日の週:
質問書の公開

6月17日:
開示者向けの回答受
付期間開始

9月16日:
スコアリング対象回
答の提出期限

11月30日の週:
2026年スコアのCDP
ポータル上での公開

4月27日の週:
要請者は
リストの提出を開始

7月13日の週:
回答提出ボタン
利用可能

10月26日の週:
スコアリング対象外の
回答の提出期限



最新のスケジュールについては、[CDP Disclosure 2026 – CDP](#)
をご確認ください

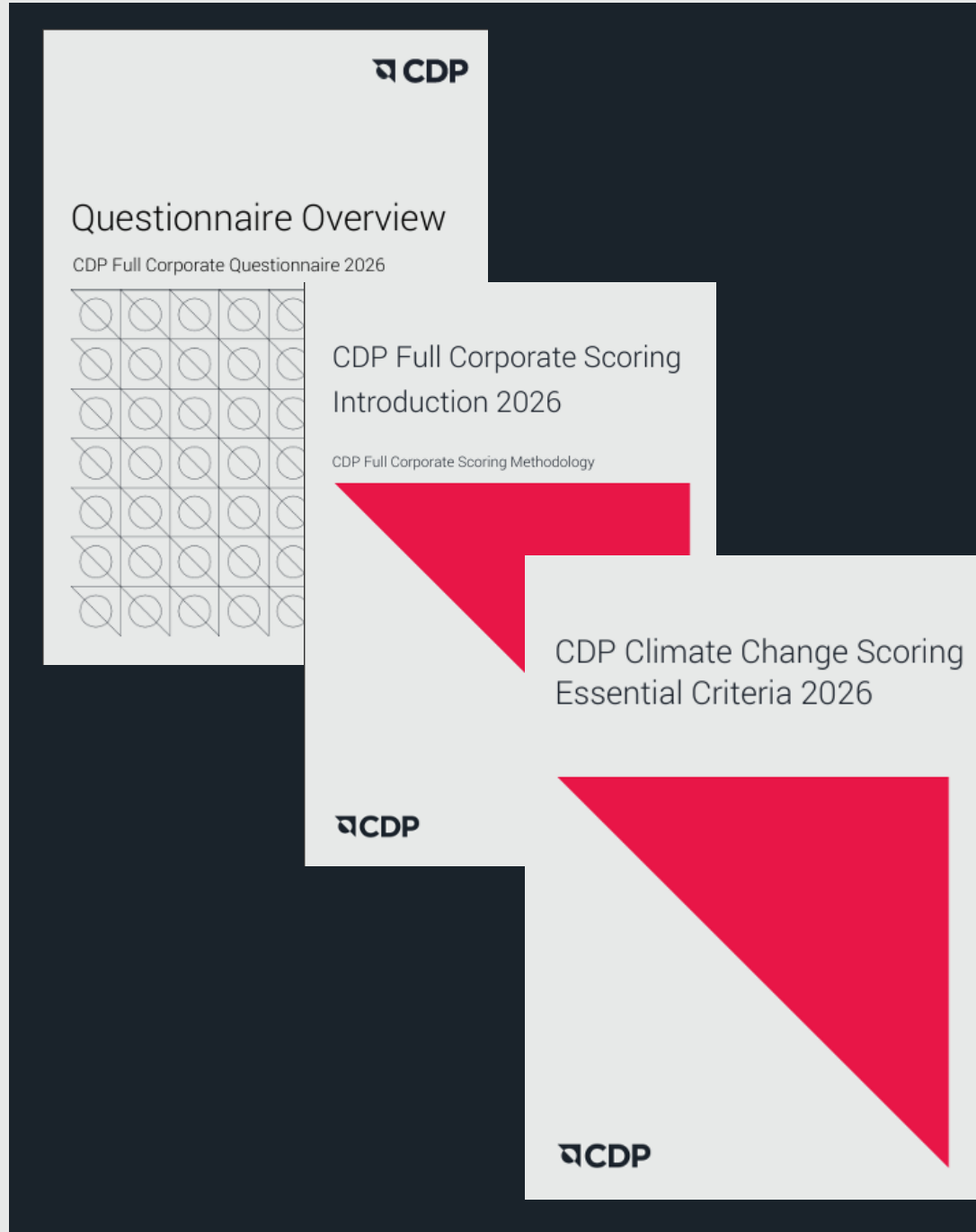
回答事務費用

- 回答事務費用は、CDPキャピタルマーケットから情報開示要請を受けた企業、および自主的に情報開示を行う企業に適用されます。
- サプライチェーンのメンバー、および／またはバンクプログラムメンバー、および／またはRE100イニシアチブのみから情報開示を求められた組織は、回答事務費用の支払いが免除されます。

回答事務費用	CDPポータルを通じた回答	CDPの各種ツールの利用 (開示フレームワークやガイダンス)	CDPを通じた情報開示による対話の機会	CDPサポーターバッジ(ロゴデータ)の付与	CDPサポーターとしてCDPウェブサイトへの組織名の掲載	CDPイベントへの優先参加権(2名)	CDPディレクターからのコメント	2026年の回答公開企業の回答から、任意の100社分の閲覧	詳細な比較分析レポート1点	CDP認定ソリューションプロバイダー(ASP)のご紹介	上位50社のサプライヤーを対象とした補完的なスクリーニングの実施
エンハンスト (¥775,000)	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ファンデーション (¥325,000)	✓	✓	✓								

参考資料(1)

- 2026 CDP 質問書概要(英語のみ)
 - 完全版 | [SME版](#)
- 2026年 CDP質問書・ガイダンス・スコアリング基準(日・英)
- 2026 CDP スコアリングイントロダクション
 - 完全版(日・英) | [SME版\(日・英\)](#)
- 2026年 CDP 必須要件
 - 気候変動(日・英) | 水セキュリティ(日・英) | フォレスト(日・英)
- [バージョン管理表: CDP コーポレート質問書およびスコアリング基準 2026年更新版](#)
- [情報開示に関するページ: 情報開示の方法\(日本語\)／How to Disclose\(英語\)](#)



参考資料(2)

・変更点(英語のみ)

- 2026年 CDP 質問書変更点トラッカー
 - 2026年 CDP 質問書変更点 [完全版](#) | [SME版](#)
 - 2026年 CDP コーポレート完全版質問書スコアリング基準の変更点
- ・ **2026年 CDP カテゴリーマッピング&ウェイティング:**
- **カテゴリーマッピング(英語のみ):** [気候変動](#), [水セキュリティ](#), [フォレスト](#)
 - **カテゴリーウェイティング(英語のみ):** [気候変動](#), [水セキュリティ](#), [フォレスト](#)

- ・ CDPキャピタルマーケットツ要請基準(CDP (ある(Capital Markets Request - 2026 Sample Methodology))(英語のみ)
- ・ CDP-ACS(活動分類システム)([日本語](#)／[英語](#))
- ・ CDPの産業別インパクト分類(CDP Industry Impact Classification)(英語のみ)
- ・ CDP-ACSの設定・変更、水セキュリティ／フォレストの回答の意思表示に関する説明: [ナレッジ記事](#) ([日本語](#))
- ・ 質問書設定プレビュー(CDP Corporate Questionnaire Setup - Preview)(英語のみ)



CDP ヘルプセンター

• <https://help.cdp.net/>

- ナレッジベース:ほとんどの質問については、ナレッジ記事ですでに回答されています。
- サインイン後、CDPにお問い合わせ(ケース)を送信することができ、そのケースはお客様のアカウントに紐付けられます。
- 対応言語:英語、ポルトガル語、日本語、簡体字中国語、スペイン語

CDP

ナレッジベース

検索

日本語

サインイン

CDPヘルプセンター

検索バーにキーワードを入力し、ナレッジ記事から必要な情報を検索できます

すべて 検索キーワードを入力

回答要請機関向け記事

情報開示組織向け記事

ご質問をどうぞ

お急ぎの方はこちら：

1. CDPへ初めて回答される方： - [情報開示のご登録](#)
2. ヘルプセンターを初めて利用される方： - [ヘルプセンターアカウントのご登録](#) 登録(Register)より新規アカウントを作成し、お問い合わせください
3. お困りの場合： - ケースを作成し、お問い合わせください
 - ヘルプセンターにサインイン後 マイサポートよりお問合せください
 - [CDPヘルプセンターでケースを作成する方法](#)



質疑応答



事前質問(1)



Q1.他社回答の閲覧方法を教えて欲しい。

データ・プロダクトとレポート

CDP旧プラットフォームにあるすべてのデータ・プロダクトと情報開示データを表示します。

2025年の質問書への回答

組織が公開した回答を表示/ダウンロードする国/地域と事業活動に基づいて回答を選び、条件が類似した組織の回答を見ることができます。

回答を表示

回答を閲覧

ポータルのホーム画面中央

- ①「2025年の質問書への回答」> 回答を表示をクリック
- ②「回答を閲覧」より、閲覧を希望するを検索

2025年の質問書への回答

10,000を超える2025年の質問書への「公開」回答のリストを閲覧し、表示したい回答を追加してください。

① あと20個の回答を表示できます

貴社のメンバーシップで利用できる20個中0個の回答に既にアクセスしています。

選択済みの回答が表示されます。



事前質問(2)



Q2. 7.55.2 | 「投資回収期間」と「イニシアチブの推定持続期間」はそれぞれ何を記入すればよいですか？

投資回収期間 / Payback period

定義

投資した費用を、イニシアチブから得られる経費節減効果などで回収するのにかかる期間

記入のポイント

- ・「必要投資額」÷「年間経費節減額」から試算した回収年数を目安に選択
- ・例: 投資300万円、年間節減60万円 → 回収5年 → 「4～10年」を選択

選択肢

1年未満 / 1～3年 / 4～10年 / 11～15年
16～20年 / 21～25年 / 25年超 / ペイバックなし

イニシアチブの推定持続期間 / Estimated lifetime

定義

そのイニシアチブが稼働し続け、コスト削減の効果を発揮し続ける期間の見込み(≡ 耐用年数・運用寿命)

記入のポイント

- ・「取り組みを実施するまでの期間」ではなく、「実施後に稼働し続ける期間」
- ・例: 省エネ設備の導入(耐用年数20年) → 「16～20年」を選択

選択肢

1年未満 / 1～2年
3～5年 / 6～10年 / 11～15年 / 16～20年
21～30年 / 30年超 / 継続中

≤

△ 原則 △ 投資回収期間

≤ イニシアチブの推定持続期間



事前質問(3)

Q3. 新規質問7.12の回答対象セクター・本質問の位置付けをご説明いただきたいです。

7. 環境パフォーマンス – 気候変動

排出量

エネルギー

指標および生産活動

目標

排出削減の施策、取り組み、製品およびサービス

カーボン・クレジット

7.12 貴組織の事業またはバリューチェーンにおいて、土地セクター活動の重要性はありますか

対象となるスコアの更新



- 新たに追加されたこの質問にスコアリングが導入されました。今後公表予定のGHG プロトコル「土地セクターおよび除去ガイダンス」に沿った報告への準備を各組織が進めることを目的としています。
- 本質問は、**情報開示レベル**では記入したセルごとに、開示された行数に比例してポイントが付与、**認識レベル**では表内の完全回答に基づいてスコアリングされます。

7.12.1 報告年度において、以下の土地セクター算定サブカテゴリのうち、どれが貴組織に関連しますか

対象となるスコアの更新



- 新たに追加されたこの質問にスコアリングが導入されました。今後公表予定のGHG プロトコル「土地セクターおよび除去ガイダンス」に沿った報告への準備を各組織が進めることを目的としています。
- 本質問は、**情報開示レベル**では記入したセルごとに、開示された行数に比例してポイントが付与、**認識レベル**では表内の完全回答に基づいてスコアリングされます。
- これらの新質問の追加とスコアリング導入に伴い、質問7.12.2はスコアリング対象外となりました。



事前質問(4)



Q4. 回答におけるベストプラクティスを教えてください。

1. イントロダクション

1.5 貴組織の報告バウンダリ(境界)の詳細を回答してください。

組織活動(特定分野に限る)

生産・調達したコモディティ

バリューチェーンマッピング

2026年のベストプラクティス

マネジメントレベルでは、CDP開示で用いる報告バウンダリと、財務諸表で使用されている報告バウンダリが同一であることが、評価上のインセンティブとなります。

6.1 環境パフォーマンスデータの計算に関して、選択した連結アプローチを具体的にお答えください。

6. 環境パフォーマンス 連結アプローチ

連結アプローチ

2026年のベストプラクティス **新規**

マネジメントレベルでは、気候変動・フォレスト・水セキュリティという全ての環境課題について、環境パフォーマンスデータの算出に用いる連結アプローチが同一であることが求められます。

CDPLレポーターサービス

より良い開示と環境戦略の強化をサポート

2026年の開示に向けて、以下のサービスのうちご希望のものを提供します(有料)

ギャップ分析

CDP Reporter Services: 2025 Gap Analysis

Prepared for: Questionnaire Sector

Company name: Account Manager

Theme: Climate

Date:

Overview:

The gap analysis is based on your response to the 2024 CDP questionnaire, against current requirements. Any confirmed new reporting requirements and guidance as well as question-level gaps are pointed out in the comments throughout this document.

Disclaimer:

The analysis does not guarantee a higher score and does not award points nor provide a score. While every attempt is made to ensure that the information in this document is correct, CDP can accept no responsibility for its content or for any consequences to an individual or company as a result of following advice or guidance contained therein.

Question number	Question text	Row name	Row ID	Gap comments	Guidance Updates	Essential Criteria
1	Describe the policies and measures you have in place for individuals or committees on the board with accountability for environmental issues and provide details of the boards oversight of environmental issues	Climate change		建築業において、環境リスクは、気候変動による物理的・移行リスクと、気候変動対策の進展に伴う機会・リスクを認識し、戦略的に管理しています。環境目標を設定し、定期的な進捗確認を行っています。また、関係者の理解と協力を得ることで、効果的な取り組みを実現しています。	「ネットゼロ」に向けた具体的なロードマップを示すことが求められています。気候変動に関する最新の規制やガイドラインに準拠した情報を提供してください。	本表に記載されている項目のうち、必須項目（※）は必ず回答する必要があります。任意項目（△）は、状況に応じて回答してください。詳細については、本表の注釈をご覧ください。

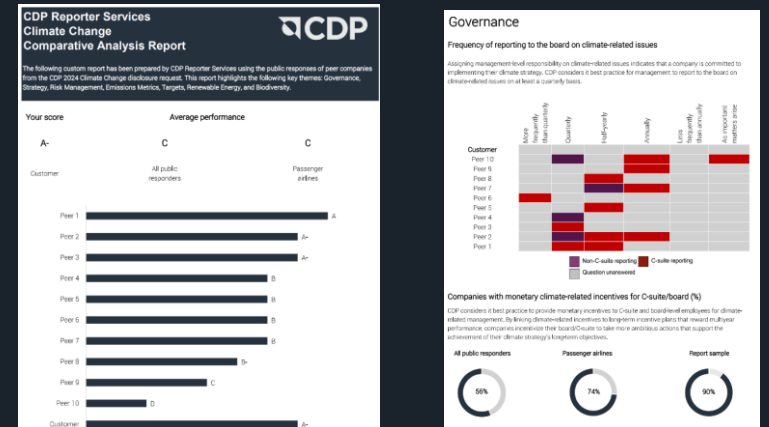
2025年の貴社回答を、2026年のスコアリング基準(ベストプラクティス)に照らして、ギャップ(改善余地)を特定し、スコアリング基準等に変更点があればそれもお知らせします。

ファイナルレビュー

CDP Reporter Services: 2025 Final Review		Company Name	
Prepared by:	Account Manager	Company ID:	
Reviewed by:	General	Customer Name:	
Questionnaire Sector:	General	Customer Sector:	
Overview:	The final review is based on your draft responses to the 2025 Corporate Questionnaire and highlights gaps in your draft responses against 2025 reporting requirements. Gaps are pointed out through comments and will be discussed on a question-by-question basis with your CDP account manager. The final review aims to direct your attention to specific areas with room for improvement in your company's CDP submission. It does not give an indication of the score your submission will receive, nor does it guarantee a higher score. While every effort is made to ensure that the information in this document is correct, CDP accepts no liability however caused arising out of or in connection with it.		
Disclaimer:	The final review aims to direct your attention to specific areas with room for improvement in your company's CDP submission. It does not give an indication of the score your submission will receive, nor does it guarantee a higher score. While every effort is made to ensure that the information in this document is correct, CDP accepts no liability however caused arising out of or in connection with it.		
Question number	Question text	Row	Account manager comment
10.1	Provide details of your environmental policies.	-	・気候変動と気候変動に関する目標を明記してください。以下の通り適切な内容で、かつ以上を
11.2	Provide details of the outcomes of your organization's scenario analysis.	-	・気候変動への影響について、財務的・物理的・移行的リスクを定量的・定性的に評価し、
11.3	Does your organization use an internal price on environmental externalities?	-	・気候変動への影響について、財務的・物理的・移行的リスクを定量的・定性的に評価し、
11.4	Provide details of your organization's internal price on carbon.	-	・気候変動への影響について、財務的・物理的・移行的リスクを定量的・定性的に評価し、
11.5	Do your suppliers have to meet environmental requirements as part of their contractual purchase order?	-	・気候変動への影響について、財務的・物理的・移行的リスクを定量的・定性的に評価し、
11.6	Provide details of the environmental requirements that suppliers have to meet as part of your organization's purchasing process, and the compliance mechanisms in place.	-	・気候変動への影響について、財務的・物理的・移行的リスクを定量的・定性的に評価し、
11.7	Provide details of your environmental engagement activity with other stakeholders in the value chain.	-	・気候変動への影響について、財務的・物理的・移行的リスクを定量的・定性的に評価し、
12.1	Indicate the verification/assurance status that applies to your reported emissions.	-	・気候変動への影響について、財務的・物理的・移行的リスクを定量的・定性的に評価し、
13.1	Provide further details of the verification/assurance undertaken for Scope 1 emissions, and attach the relevant statements.	-	・気候変動への影響について、財務的・物理的・移行的リスクを定量的・定性的に評価し、

貴社の2026年の回答案をレビューし、残っているギャップ(改善余地)を特定し、回答提出前の最終チェックを行います。

比較分析レポート(PDFファイル)



主要なCDPのデータポイントについて、
最大10社の企業(貴社にて選択)と貴社
自身のパフォーマンスを比較できます。

お問い合わせ: relationship.japan@cdp.net

注)上記の画像は過去の提供物に基づいており、提供物の書式は変わる可能性があります。



ご参加いただき
ありがとうございました

アンケート用QRコード

